

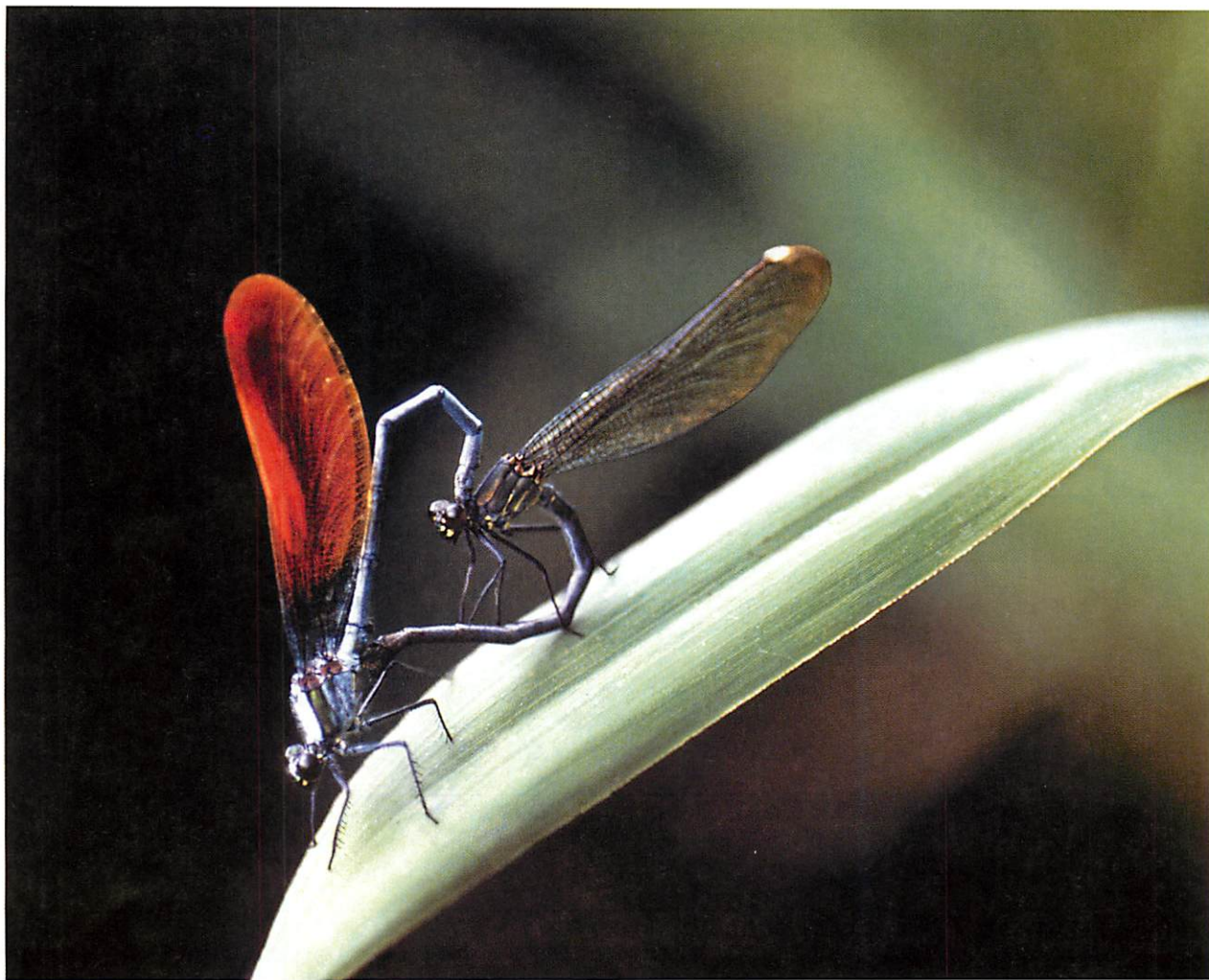
# Stage Up

2002年

6

月号

生涯学習情報誌  
ステージ・アップ  
通巻 No. 111



写真：「愛」(カワトンボ) 撮影：川口 道明

- もくじ**
- 2 特集 ふれあいサマーキャンプ
  - 4 生涯学習ア・ラ・カルト
  - 6 ぐるーぷBOX / いま地域で学校で
  - 7 まち・ひと・多面体 / 暮らし百景 俳壇
  - 8 イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団  
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1  
TEL 044 (733) 5560(代)/FAX 044 (739) 0085  
ステージ・アップ直通 TEL 044 (733) 5811 E-メール:stage-up@kpal.or.jp

**特集**

ふれあいサマーキャンプ

# 生きる力はぐくむ豊かな体験

今年の夏も「ふれあいサマーキャンプ」を実施いたします。平成2年に始まったこのサマーキャンプは川崎の小中学生が親元を離れ、豊かな自然に恵まれた市町村でその土地の文化・農業体験や地元の人々との交流など、さまざまなプログラムを体験できます。緑あふれる自然の中で、心もからだもリフレッシュ！

「自然・人・文化」とのふれあいを通して得た新しい出会いや発見は、夏休みのすばらしい思い出となるでしょう。川崎市と友好関係にある自治体が受け入れ窓口となり温かく迎えてくれ、毎年好評です。小中学生のみさんの申し込みをお待ちしています。

◇宮崎県東郷町・南郷村コース  
わくわくどきどきカヌーに挑戦



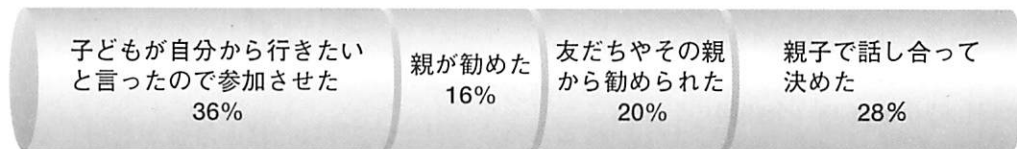
◇宮崎県北浦町コース  
地元の子どもと力合わせて地引網

| コース         | 期 間   | 対象・定員   | 交通手段・おもな内容  | 参加費                               |
|-------------|---|---|---|-----------------------------------|
| 北海道<br>中標津町 | 8月19日(月)<br>～23日(金)<br>(4泊5日)   | ◎牛の数が人より多い<br>小5～中2<br>40人                      | 酪農の盛んな中標津でいろいろな体験をしよう◎<br>往復飛行機、アイス作り、溪流つり、ハイキング、<br>農業高校でジャム作りや牛の世話など  | 小 48,000円<br>中 64,000円            |
| 岩手県<br>東和町  | 7月26日(金)<br>～29日(月)<br>(3泊4日)   | ◎キャンプやホームステイで地元の人との交流を深めよう◎<br>小5～小6<br>60人     | 往復新幹線、ホームステイ(2泊) 地元小学生との<br>キャンプ(1泊) 和紙作り、さき織りなど                        | 小 30,000円                         |
| 長野県<br>富士見町 | 8月1日(木)<br>～5日(月)<br>(4泊5日)   | ◎自然教室とはひと味ちがった八ヶ岳の魅力を発見し、体験しよう◎<br>小5～中2<br>40人 | 往復貸切バス、キャンプ(1泊) フィールドボード、<br>地元子どもとの交流、ハイキング、そば打ちなど                     | 小中とも<br>22,000円                   |
| 宮崎県<br>【海】  | ☆大型豪華フェリーで九州へ行こう。いるかうおッチングができるかも☆<br>◎海コース…遠浅の美しい海で、海水浴を中心にいろいろ体験してみよう◎ | 小5～中2<br>20人                                    | ホームステイ(2泊) 海水浴、学校での交流、漁船<br>定置網体験など                                     | 小 32,000円<br>中 39,000円            |
| ①日向市        | 8月3日(土)<br>～8日(木)   | 小5～中2<br>20人                                    | 無人島(1泊) 海水浴、魚料理体験、魚市場見学など   | 小 32,000円<br>中 39,000円            |
| ②門川町        |   | 小5～中2<br>20人                                    | ケビン(1泊) 海水浴、無人島上陸、地元との交流<br>など  | 小 36,000円<br>中 43,000円            |
| ③北浦町        |   | ◎山コース…山間の美しい川で水泳や魚つかみ、夜は満天の星空を見よう◎              | 小5～小6<br>20人  | コテージ泊、川あそび、カヌー、陶芸、地元小学生<br>との交流など |
| ④東郷町<br>南郷村 | 小5～小6<br>20人  | コテージ泊、川あそび、魚のつかみどり、遊覧船ポ<br>ートなど                 |   |                                   |
| ⑤西郷村<br>北郷村 | 小5～小6<br>20人  | コテージ泊、川あそび、地元小学生との交流、パタ<br>ーゴルフなど               |   |                                   |
| ⑥椎葉村<br>諸塚村 | (5泊6日 往復フェ<br>リー船中2泊)   | 小5～小6<br>20人                                    |   |                                   |
| 北海道<br>岩見沢市 | 8月22日(木)<br>～26日(月)<br>(4泊5日)   | ◎都会と農村の要素を<br>小5～小6<br>20人                      | あわせ持つ地域で楽しい体験をしよう◎<br>往復飛行機、キャンプ(1泊) ホームステイ(2泊)<br>じゃがいもほり、学校交流、ガラス細工など | 小 48,000円                         |

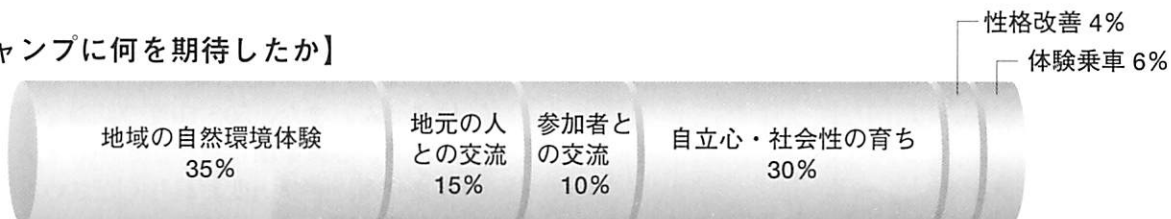
## ■アンケートに見る「ふれあいサマーキャンプ」■

青少年活動事業室では、平成12年と13年に子どもをサマーキャンプに参加させた保護者403人にアンケートを取り、252人から回答を得ました。その結果の一部をグラフで紹介します。

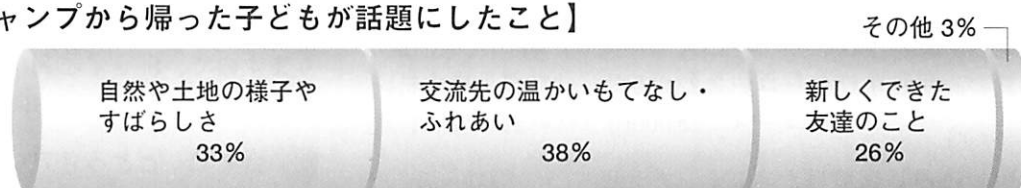
### 【参加した動機】



### 【キャンプに何を期待したか】



### 【キャンプから帰った子どもが話題にしたこと】



◇北海道中標津コース  
地球は本当に丸い360度の眺め



◇北海道岩見沢コース  
ガラス工芸むずかしい!



### 申し込みはファックスまたはハガキで 6月16日(日)締め切り

申し込みの際は、希望者全員（2人以内）の住所、氏名、ふりがな、☎、性別、学校名・学年、希望コース名（第2希望まで）を明記し、下記までお送りください。

★あて先★

〒211-0064 川崎市今井南町514-1  
川崎市生涯学習振興事業団 青少年活動事業室

★FAX★

・044(733)5894 青少年活動事業室 ・044(739)0085 総務室

※問い合わせは☎044(733)5893 定員を越えた場合は抽選。当選者は後日説明会に保護者同伴で参加してください。

## ●まなぶ●

## 第2期 プラザ陶芸教室 受講者募集

日常から離れ、ゆったり土と対話する心静かな時間。感性のおもむくまま、あなただけのオリジナル陶器作りを楽しんでみませんか。1コースで7点～10点の作品ができあがります。

## ◆手びねりコース水◆

8月7日～10月30日 水曜13時半～16時 全10回

## ◆手びねりコース土◆

9月7日～11月30日 土曜13時半～16時 全10回

## ◆ロクロコース水◆

8月7日～10月30日 水曜9時半～12時 全10回

## ◆ロクロコース土◆

9月7日～11月30日 土曜9時半～12時 全10回

【対象】 18才以上、ロクロコースは手びねり経験者  
 【定員】 手びねり…各15人 ロクロ…各10人(抽選)  
 【費用】 手びねりコース22,000円(材料費・焼成料)  
 ロクロコース 28,000円(材料費・焼成料)

【申し込み】 官製はがきに、「プラザ・○○○コース○」と明記し、〒・住所・氏名・☎を記入の上、下記あてにお送りください。  
 〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1  
 川崎市生涯学習振興事業団学習事業室「陶芸教室」

【締め切り】 手びねり・ロクロコース水…7月5日(金)  
 手びねり・ロクロコース土…7月26日(金)

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626

## 市内で活動の文化団体に ホールを無料開放

川崎市生涯学習振興事業団では、文化・芸術活動の振興を推進するため、おもに川崎市内で活動する文化団体・グループに、新百合21ビルにある多目的ホール「トゥエンティワンホール」(小田急新百合ヶ丘駅から徒歩2分)とその付帯設備を無料で開放します。ジャンルは、音楽・舞踊(ダンス)・演劇・映像などの文化芸術です。

\*貸し出し月と貸し出し団体数

2003年2月に2団体

\*受け付け期間

6月1日(土)～6月22日(土)まで

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626

## ●たのしむ●

## スポーツサウナのご案内

スポーツ後の疲労回復、リフレッシュにサウナの利用をお勧めします。

とどろきアリーナでは、遠赤外線を利用した低温サウナを設置しています。このサウナの特徴は、遠赤外線の共振作用で体内の体液温度を上昇させ発汗させるため、皮膚の表面温度はあまり上昇せず、皮膚に負担をかけません。また、50～60度の低温で多量の汗を発汗させるため、心臓や肺に負担がかからず入浴後の疲労感が残りません。ぜひ一度お試しください。

◆利用時間…9時～21時

◆料金…1回600円(15歳以上の方)

なお、川崎市体育館にもサウナ(高温)を設置しておりますので、併せてご利用ください。

詳しくは、各施設にお問い合わせください。

問い合わせ とどろきアリーナ ☎044(798)5000  
 川崎市体育館 ☎044(200)3255

### 川崎市子どもの権利に関する条例—その13

#### 低学年向けに条例を解説～宮崎小PTA～

宮崎小学校PTA広報委員会では昨年、低学年が理解できるよう、B5判4ページの条例紹介リーフレットを5回シリーズで発行しました。リーフレットは、条例の第2章「人間としての大切な子どもの権利」を中心に、条文をやさしい言葉で解説したものです。編集に携わった委員会の方々には作成のきっかけなどを伺いました。

毎日の生活の中で、子どもに対する虐待や暴力、いじめなど暗いニュースを耳にすることが多くなり、身近な問題として実感し“人権”に関心を持つようになりました。子どもの人権を守るためには、大人だけでなく子ども自身が知らなければ…との思いから取り組みました。

ナビゲーター役に「妖精」のキャラクターを登場させ、子どもに興味を持ってもらうよう工夫。例えば、第14条の「自分に関することを年齢と成熟に応じて決めること」という条文を、「自分の年や成長にあわせて決めること」と表現を変え、さらに妖精が「じぶんについて なにかきめるときは いまのじょうたいにあった ないようにしていけるんだよ」と子どもたちに呼びかける、という具合に解説していきました。条文の持っている意味を変えることなく、わかりやすい言葉に置き換えることは難しいことでしたが、編集作業を通じて、私たち自身が条例の勉強ができてよかったと思います。

問い合わせ 市民局人権・男女共同参画室 ☎044(200)2344

## ラ・カルト

## ●はぐくむ●

## 四季のふれあい満喫「八ヶ岳少年自然の家」

川崎市八ヶ岳少年自然の家は、八ヶ岳連峰の南麓、標高1200mを越える高原にあります。ここでは、ハイキング、木工芸、野外炊飯、天体観察、キャンプファイヤーなどの野外活動を通して、豊かな自然を満喫できます。



編笠山に登りホッとひと息

## ◆利用対象・申し込み◆

市内の少年団体や小・中・ろう学校の児童生徒利用の6カ月前～2カ月前までにお電話ください。  
※家族や仲間同士で宿泊するときは保養所「川崎市民休暇村」をご利用ください。

問い合わせ 川崎市八ヶ岳少年自然の家

☎0266 (66) 2011/Fax0266 (66) 2014

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原12067-482

## ●さがす●

## お役に立ちます!「教育人材センター」

川崎市教育人材センターでは、「教育人材の情報提供と紹介」をしています。川崎市の学校を退職した教職員が、ボランティアとして専門分野ごとに市民の皆様の学習活動を支援します。

——— こんなときにはお電話を ———

- ☆学習会・講習会などの指導者・助言者がほしい
- ☆講演会の講師をさがしている
- ☆趣味の会・同好会などのアドバイザーはいないか
- ☆子供会の行事やレクリエーションのリーダーがほしい
- ☆子どもの教育・学習についての相談者をさがしている

## ◆「人材ガイド」を差し上げます(無料)

ご希望の方は140円切手を同封のうえ、下記へお申し込みください。

〒211-0011 中原区下沼部1709-4

川崎市教育会館内 教育人材センター

問い合わせ 教育人材センター ☎044 (435) 7474

## ハート &amp; ハーモニー Vol.23

## バリアフリーの基にあるもの

日本語の「障害」は多くの意味に使われていて、一言で定義しにくいものです。本来は「障礙(碍)」で、障も礙も「バリア」です。法律上は障害を「身体障害」「知的障害」「精神障害」の三種類に分け、障害者手帳の交付が行われています。このとき障害があることの診断が必要ですが、障害は「目に見える」「固定した」ものとは限らないという難しさがあります。

障害は三つのレベルに分けて考えられます。英語ではインペアメント(失ったもの)、ディスアビリティ(できなくなったこと)、ハンディキャップ(社会的不利)です。両足切断で、歩行ができなくなって、車椅子に乗っている、という固定した身体障害を考えると分かりやすいでしょう。障害の予防、治療、リハビリテーション、社会施策も、それぞれのレベルで考えることができます。そして、どんな人であっても身体的・知的・心理的に「できないこと」があることを思えば、「何かがない」か「社会的不利を負っている」ことで「障害者」というラベルを張られることには大きな抵抗があると思います。

バリアフリーの社会基盤整備は、障害者対策と言うよりも「社会の便利化」と考えられます。日本では早くから、重たい商品の出し入れをする米屋と酒屋はバリアフリーでした。障害のあるなしに拘らず便利に使える知恵を組み込むことが「ユニバーサルデザイン」です。エレベーターやエスカレーターは元気な人でも「あれば便利」です。車椅子は「あってもまだ不便」な面があります。ハンディキャップをなくすことは、障害の個性に応じた「誂えの」援助をする知恵と科学技術の進歩によって可能になります。もちろん社会の目が「だれでも同じことができる」ノーマライゼーションの方を向いてこそ、知恵も技術も活かされるのです。そこで重度の障害の意義を突き詰めて考えていくと、社会の中で何か役割を果たせること以前の「存在すること」に価値があると考えることが、尊厳を持ってバリアをなくす社会になる方向であると思います。

日本の社会福祉にはまだ「十分困りきった人」がすぎる制度というイメージがありますが、そのような区別をせずに、社会全体の便利化を基本に据えながらハンディキャップをなくす制度の方が、ノーマライゼーションを進めやすいと思います。

「福祉」は人類が手に入れた貴重な財産です。

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

## ぐるーぷBOX

### 互いに技法を学び合う

#### 「多摩七宝焼研究会」

花や鳥が描かれたブローチやイヤリング、インテリア小物などを作り楽しんでいるのは「多摩七宝焼研究会」(伊奈恵美子代表、会員28人)。同会の誕生は昭和41年。当時の稲田公民館主催の成人学校で七宝焼を学んだ人たちが「継続して知識と技術を学び、高めていこう」と発足。現在会員は40代～60代の女性がほとんどで、発足時からの人もいます。昨年男性が二人加わりました。

七宝焼は、銅や銀などの金属にガラス質の釉薬を焼きつける工芸品の一種で、30余の基本技法があります。発祥は紀元前のメソポタミアまでさかのぼり、日本には奈良時代に伝わったということです。

ある水曜の午後、多摩市民館の実習室を訪ねました。会員は4班に分かれて、アクセサリーづくりに励んでいました。作品の出来あがりイメージしながら、竹串でさまざまな色の釉薬を銅版につけていきます。その作業のあと、1000度近い高温釜に入れて焼きつければ完成です。和やかな雰囲気の中で、作品の感想を述べ合い、技法などを推敲していました。同会では、だれが指導するとい

うわけではなく、自由研究が中心です。年2回、外部で開かれる講習会に数人の会員が参加し、習得した新しい技法をみんなに伝授しています。

また同会では、作りためた物を区民祭のバザーに出品し展示即売で人気の的になったこともあるそうです。会員の声「七宝焼は、金属・釉薬・熱の3要素の融合です。思い描いた通りに仕上がったときはうれしいです」。

◆活動日：毎週水曜 13時から

◆場 所：多摩市民館

◆連絡先：☎ (954) 4181 の伊奈さん



## いま地域で学校で

### 「教育を語る集い」で落語家が講演

#### 犬蔵中学校区地域教育会議

宮前区の犬蔵中学校区地域教育会議(平井完兒議長、犬蔵中・犬蔵小・白幡台小)は、地域教育の振興・発展、青少年活動の振興、健全な成長への支援などを目的に平成9年に発足しました。

同教育会議では、ふれあい・青少年・まちづくり・広報・生涯学習の5つの委員会を組織し、子ども会議や講

演会の開催、学校の文化祭のイベント参加、地域の安全についての話し合いなどの活動を続けています。昨年は「学校と地域を結ぶパイプ役となる活動の推進」を目標の重点とし、大人を対象にした講演会などを行いました。

3月中旬の日曜日、落語家の桂才賀さんを講師に迎え、「聞こえますか? ころの叫びが…」と題する「教育を語る集い」が行われました。桂さんは、少年院を訪れ子どもたちの声を聞く法務省少年院面接委員でもあります。

講演で桂さんは、さまざまな少年たちと接した体験をもとに逆説的な切り口で「子どもを非行化させる10のコツ」を紹介。「幼い時から放りっぱなしにせよ。欲しいと言ったら何でもすぐに買い与えよ」と巧みな話術で語り、集った200人の笑いを誘っていました。

後半は一転して、少年院で耳にした子どもたちの本心「心の叫び」の朗読となりました。「父さん、母さん僕らの前で喧嘩しないで、二人共嫌いになっちゃうよ」「先生にクズはやっぱりクズだなと言われ悲しかった。がんばろうと思っていたのに…」「しっかりやり直そうと思っているのにそんな目でみるなよ」と淡々と語られる言葉が、聞く人の胸につきささり、涙を浮かべる人もいました。

平井議長は「あらためて子どもの生き方や考えをみつめる機会になりました」と話していました。



まち・ひと・多面体

メールがつながる新たな出会い

「川崎シニアネット」代表 渡辺正信さん

「パソコンやインターネットを活用して人と人がつながり、豊かで活力ある高齢社会を創ろう」と定年退職を機に「川崎シニアネット」を設立した渡辺正信さん=写真右。一人から出発して3年、いまや208人の会員（平均年齢64歳）を有するまでに成長し注目を浴びています。

活動はメーリングリストでの情報交換が主。メーリングリストとは、ある会員が発信したメールを全会員に一斉に送り話題を共有、そのメールに興味を持った人が返信する、という仕組みです。家族のことや花の見ごろ、パソコンのトラブル相談など、さまざまな話題が1日に20通前後やりとりされているそうです。

ネット上の交流のほかに年2回、顔を合わせて語りあう「オフ会」を開き親交を深めています。また、会員たちの間では「この指とまれ」と同好の士を募り、俳句、英会話、ハイキング、ゴルフなどの会を結成、新たな出会いの場づくりも盛んです。

自分のホームページを持っている会員が3割もいるほど、パソコンに精通した人が多いこの会で「パソコン相



談コーナー」を開くと聞いて、会場の駅ビルの一室を訪ねました。相談会では8人の初心者会員に「ヘルプの使い方」「インターネット検索」などをマンツーマンで指導。熱気いっばいの90分は「痒いところに手が届く」と好評でした。渡辺さんは「いろいろ学んで、そのうち教える側にまわってください」と初心者をお励ましていました。

入会は無料。川崎市在住か川崎に縁のある50歳以上で、メールアドレスを持っている人なら誰でも参加できます。

◆ホームページ…<http://kawasaki-senior.net>

◆Eメール…[webmaster@kawasaki-senior.net](mailto:webmaster@kawasaki-senior.net)

くらし百景

俳壇

幸縁会

おぼろ夜の一寸先を手放せり

触診なきドクターやくらげの目

鳥の目であそびし山やさくら時

ふりむけば桃に棲みつく童かな

江ノ電の朧おぼろの曲りかな

現在地たしかめあいぬ春一番

いぬふぐりミクロの風に熟寝する

木の芽のび今季を背負う気魄満つ

一病の変をさらりと花辛夷

小正月幼な馴染みの長電話

ここだけの話に惜しいいぬふぐり

なんでもない故郷に来て炬燵かな

終わりの始まり桜なんかもなんか変

さよならの数ほどスノーポール咲く

冬花火夜空彩る観覧車

院内の老女さわがし花ぐもり

あさりと島影はえる三河湾

ぬきん出て花桃のあり碧き空

舌耕の春ふくらますのど仏

寺井 禾青

初川 正

守田きよし

山口 寿子

吉田 キミ

中井 智子

佐藤 清子

森 信子

橋本 ハル

浅野 京子

岡崎やよい

松崎 栄子

松崎 宏

赤木 京子

岡田三千代

村井瑠津子

畑田すみ子

土田アイ子

森 さち

※幸縁会は昭和六十二年、故小倉緑村先生ご教授のもとに幸文化センターの成人学校修了者で発足致しました。平成四年より「現代俳句協会」会員・「山河」運営委員の寺井禾青講師からご指導いただき研鑽に励んでいます。ユーモアをとり入れ楽しみながらこれからも続けてゆきたいと思えます。

代表 森 さち

## 情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

## ●川崎市民交響楽団第155回定期演奏会

6月2日(日)14時開演、教育文化会館。シューベルト「ロザムンデ」序曲、モーツァルト「ヴァイオリン協奏曲第5番」マーラー交響曲第1番「巨人」他。指揮は井上喜惟。1000円。  
 〇〇〇45(753)8578同事務局の森さん。

## ●しあわせを呼ぶコンサート

6月7日(金)13時40分開演。会場は宮前市民館。無料。  
 宮前区内の施設や作業所に集う障害のある人たちが、コーラスグループと共に、ベートーベンの「第九・合唱付き」(抜粋)を原語で歌う。出演は「宮前ハンズ」「セルフ宮前こぼと」「トゥーランブラン宮前」「長尾けやきの里」他。〇〇〇(856)3132の宮前区役所区政推進課。

## ●ランチタイムコンサート～木管五重奏

6月19日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は塩谷信洋(フルート)、吉村紀智(オーボエ)、越智光輝(クラリネット)他。曲は「サウンド・オブ・ミュージック」他。無料。〇〇〇(222)8821の文化財団。

## ●しまりすミュージックホール～モーツァルト週間

6月18日(火)～23日(日)、麻生区王禅寺東の同ホールで。ピアノ・木管・弦楽器などの演奏。1000～2000円。詳細は〇〇〇(988)9188のミュージックワンダーランド。

## ●ミニ画廊スナック琴①写真展②写真・銅板展

①は6月3日(月)～6月15日(土)。日立製作所写真部の作品。  
 ②は6月17日(月)～6月29日(土)。梅本京子の作品。展示無料。  
 〇〇〇(544)0507。

## ●神奈川の浮世絵展～多摩川・川崎

6月4日(火)～6月22日(土)。場所は砂子の里資料館。200年のふるさとの移り変りを浮世絵や近代版画で紹介。無料。10時開館。日曜・祝日休館。〇〇〇(222)0310。

## ●作品展～折元立身グラフィック・アート+オブジェ

6月8日(土)～9月1日(日)、川崎市市民ミュージアム。パフォーマーの折元立身の足跡を、ポスターやハガキなど250点を通して紹介。一般500円、大高生300円、中学生以下と65歳以上は無料。〇〇〇(754)4500。

## ●和光大学公開シンポジウム～戦争から平和へ

6月8日(土)13時半～17時半。会場は同大学J-301教室。  
 田中浩一郎・国際開発センター主任研究員の講演「アフガニスタンの失敗に学ぶ」▽ロバート・リケット・和光大教授の講演「国家が生み出した民族紛争—フィリピンの苦悩」他。無料。当日直接。〇〇〇(989)7478の同大総合文化研究所。

## ●玉川大学公開講座

6月開講の「植物染料で染める」「メタルデザイン」「小児救急法」「成人救急法」など13講座の受講生を募集。詳細は〇〇〇42(739)8895の同大継続学習センター。

## ●簿記3級能力検定準備講座

7月8日～10月17日の月・木曜18時15分から、全25回。労働会館。先着35人。受講料22000円、教材費1600円。〇〇〇6月23

日(日)9時から電話で。〇〇〇(222)4416。

## ●ユニバーサルファッション作品展&amp;ワークショップ

6月14日(金)～19日(水)10時～16時、多摩市民館ギャラリー。17日(月)は休館。高齢者・体の不自由な人・療養中の人のための着やすくおしゃれな服の作品展示と説明。18日と19日は「着やすく直す方法」の講習会と相談会も同時開催。〇〇〇午前中に〇〇〇(911)2221の登戸ドレスメーカー学院内「糸の詩」事務局。

## ●川崎市民プラザ夏休み短期水泳教室

1期：7月20日(祝)～24日(水)▽2期：7月26日(金)～30日(火)▽3期：8月19日(月)～23日(金)▽4期：8月26日(月)～30日(金)。時間はいずれも8時～9時。対象は5歳～中学生。受講料5000円。定員各100人。〇〇〇6月23日(日)10時より受講料を添えてプラザフロントで。〇〇〇(888)3131。

## ●川崎市青少年創作センター「夏休み創作教室」

①工作Ⅰ(木工作)②工作Ⅱ(紙工作)③手芸(ビーズ)の各教室を開催。対象は市内在住・在学の小・中学生30人、抽選。日程はいずれも7月20日(祝)～24日(水)。時間は①③が9時半から。②は13時半から。教材費は1500円～1700円。〇〇〇6月29日(土)までに、往復はがきに教室名、氏名、性別、学校・学年、〇〇〇を記し〒214-0034多摩区三田2-3303-1の同センターまで。〇〇〇(911)1510。

## ●①親子点字教室②親子手話教室

①は7月23日(火)24日(水)13時半、全2回。場所は川崎市南部身体障害者福祉会館。20人、抽選。②は7月30日(火)～8月3日(土)10時、全5回。同館。30人、抽選。対象はいずれも市内在住の小中学生とその親(小学生のみも可)。無料。〇〇〇①7月12日(金)②7月18日(木)必着で往復はがきに希望教室名、住所、氏名、年齢、〇〇〇を記し、〒210-0834川崎区大島1-8-6、同館。〇〇〇(244)3971。

## ●「コーギーコンサート」出演者募集

「コーギーコンサート」は、日ごろ音楽の練習に励んでいるながら発表の機会のない成人を対象にした音楽発表会。9月29日(日)14時から靴ホールで行うコンサートの出演者を募集。部門は問いませんが、主にクラシック。詳細は〇〇〇(812)6090の靴ホールまで。

## 表紙写真 撮影者からひとこと

里山の谷戸の片隅で  
 真紅と漆黒のカワトンボが  
 愛を育み  
 子孫を残してゆく

きみたちは人目にふれず  
 なにひとつ変わらぬ世界で  
 みごとなハート形をして  
 人間に なにを  
 警告するのか…

日本写真作家協会会員 川口 道明